スコ	アシート 実施設計段階						
配慮	項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体
	建築物の環境品質			0.40			2.7
Q1 1	室内環境 音環境		3.0	0.40 0.15	-	-	2.5 3.0
'	1.1 室内騒音レベル	_	3.0	0.40	_	-	3.0
	1.2 遮音		3.0	0.40	-	-	
	1 開口部遮音性能	_	3.0	0.55	-	-	
	2 界壁遮音性能	_	3.0	0.34	-	-	
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	_	3.0	0.06	-	-	
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)	_	3.0	0.06	-	-	
	1.3 吸音	-	3.0	0.20 0.35	-	-	1.9
2	温熱環境 2.1 室温制御		1.9 2.9	0.50	-	-	1.9
	1 室温	_	3.0	0.49		_	
	2 外皮性能	_	2.8	0.25	_	_	
	3 ゾーン別制御性	_	3.0	0.25	+	-	
	2.2 湿度制御	_	1.0	0.20	-	-	
	2.3 空調方式	-	1.0	0.30	-	-	
3	光·視環境		2.6	0.25	-	-	2.6
	3.1 昼光利用	0 FOV / [R W #]	3.3	0.52	-	-	
	1 昼光率	2.5%≦ [昼光率]。 	4.0	0.32	-	-	
	2 方位別開口	_	*	-	*	-	
	3 ■ 昼光利用設備 3.2 グレア対策		3.0 1.0	0.68 0.16	-	-	
	1 昼光制御	_	1.0	1.00			
	3.3 照度	_	1.0	0.08	_	-	
	3.4 照明制御	_	3.0	0.24	_	-	
4	空気質環境		2.9	0.25	-	-	2.9
	4.1 _発生源対策		4.0	0.50	-	-	
	1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。	4.0	1.00	-	-	
	4.2 換気		2.4	0.30	-	-	
	1 換気量	建築物衛生法を満たす換気量1.4倍以上(学校用途部分)となっている。	3.6	0.45	-	-	
	2 自然換気性能	る。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	4.2	0.09	-	-	
	3 取り入れ外気への配慮	_	1.0	0.45	-	-	
	4.3 運用管理		1.0	0.20	-	-	
	1 CO ₂ の監視	_	-	-	+	-	
	2 喫煙の制御	_	1.0	1.00	-	-	
	サービス性能		-	0.30	-	-	2.9
1	機能性 1.1 機能性・使いやすさ		2.6 3.0	0.40	-	-	2.6
	1 広さ・収納性	_	3.0	-		_	
	2 高度情報通信設備対応	_	-	_	-	_	
	3 バリアフリー計画	_	3.0	1.00	-	-	
	1.2 <u>心理性 快適性</u>		1.9	0.30	-	-	
	1 広さ感・景観	売場の天井高3.6m以上。	3.5	0.33	-	-	
	2 リフレッシュスペース	- -	2.0	0.07	-	-	
	3 内装計画 1.3 維持管理		1.0 3.0	0.60 0.30	-	-	
	1.3 維持管理に配慮した設計	_	3.0	0.50	-	_	
	2 維持管理用機能の確保	_	3.0	0.50	-	_	
2	耐用性•信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
	2.1 耐震·免震·制震·制振		3.0	0.50	-	-	
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)	_	3.0	0.80		-	
	2 免震・制震・制振性能	_	3.0	0.20		-	
	2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30	-	-	
	1 躯体材料の耐用年数	_	3.0	0.20	-	-	
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔 3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	_	2.0 3.0	0.20 0.10		-	
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ステンレスダクトを使用している。	3.0 4.0	0.10		_	
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不利用。	5.0	0.10	-	_	
	6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-	
	2.4 信頼性		2.4	0.20	•	-	
	1 空調・換気設備	_	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水・衛生設備	_	1.0	0.20	-	-	
	3 電気設備	_	3.0	0.20		-	
	4 機械・配管支持方法	-	3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備		2.0	0.20	*	-	

3 200 元	3	11	d == 4-4-1-d						
1 使素のかと3							-	-	3.3
2 国際の別が自由性		3.1	空間のゆとり		3.5	0.30	-	-	
2 東京の中心と)			1 階高のゆとり	飲食·物販部分 階高:3.9m以上。	3.9	0.60	-	-	
3.2 音型のから1				_					
33 世紀の元を作性							-	-	
日本学校大学の支持性		3.2	荷重のゆとり	_	3.0	0.30	-	-	
日本学校大学の支持性		3 3	設備の更新性	1	3.4	0.40		_	
2 応分水の皮質特性		0.0		_					
					3.0		-	-	
4 単型型の受害性性 過程型の対象性性 30 0.00			2 給排水管の更新性	_	3.0	0.20	-	-	
4 単型型の受害性性 過程型の対象性性 30 0.00			3 電気配線の再新性	電気配線は空配管内に設置されます。	5.0	0.10		_	
1 日本の表現を受していません。 1.0 2.0									
「ハッケアンズベースの原発				通信的秘は全的官内に設置されます。	5.0	0.10	-	-	
3			┃ 5 ┃設備機器の更新性	 -	3.0	0.20	-	-	
3			6 バックアップスペースの確保	_	3.0	0.20	_	_	
生物理機のの配産	00	— ~ 1			0.0				0.0
2 古たの小・農場への配産 特証に対し高いであった。 4.0 0.00 4.0 3 複雑性・アンディイの配産 2.5 0.30 2.5 3.1 地域性への変化、技術性の向上 - 3.0 0.50 - 1日、建大地の対域対域を付け流性 - 0.0 - 3.2 1日、建大地の砂路機構材 - 3.0 0.0 - 3.6 3 数センサンの金貨機材料 - 3.0 0.0 - 3.0 4 原産の生を辿がの評価 - 3.0 0.0 - 3.0 4 に関連を認めの評価 - 3.0 0.0 3.0 4 に関連を認めの評価 - 3.0 0.0 3.0 4 に関連を認める事権 - 3.0 0.0 3.0 4 に関連を認める事権を認める事権 - 3.0 0.0 3.1 1 大変開発を記した事務を認める事業を決した事務を表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま							-	-	
技術性・アメニティへの配慮	1	生物理	環境の保全と創出 ニュー	-	1.0	0.30	-	-	1.0
技術性・アメニティへの配慮	2	まちな	み・号観への配慮	植栽により、良好な景観を形成している。	4.0	0.40	-	_	4.0
3.1 地域性への配成・技術性の向上 3.0 0.50 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.2 3.3 3.3 3.0 3.5 3.3									
22 単位の国際経済のの形と	ာ						-	-	2.5
R				_	3.0		-	-	
注射 工夫ルギー		3.2	敷地内温熱環境の向上	_	2.0	0.50	-	-	
注射 工夫ルギー	ΙD	建筑	物の環境負荷低減性					_	3 2
連約大皮の熱食者利利									
2 自然エルバー利用 - 3.0 0.10 3.0 1.0 3.0						0.40	-	-	3.4
2 自然エルバー利用 - 3.0 0.10 3.0 1.0 3.0	1	建物均	ト皮の熱負荷抑制	BPIm=0.72。	5.0	0.20		-	5.0
日本の									
30 0 020 10							•	-	
# 1 1 元 2 1 1 1 元 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				BEIM=U.8U 、LEU照明設備を導入。	3.0		•	-	
# 1 1 元 2 1 1 1 元 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	4	効率的	为運用		3.0	0.20		-	3.0
41 モニタリング								_	
42 医角管理体制				\mathbf{d}_{\perp}					
# 会住宅の評価				J _			•	-	
# 会住宅の評価			4.2 運用管理体制	 -	3.0	0.50	-	-	
4.1 モニタリング				1					
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本				\mathbf{d}_{\perp}					
Tex				_	-	-	-	-	
Tex			4.2 運用管理体制	_	-	-	-	-	
水養調保機	I D2	咨话.				0.20		_	2.4
1.1 節水								_	
1.1 回水利用・維排水等の利用	1.	水質》	泉保護 		2.2	0.20	-	-	2.2
12 雨水利用・設き水等の利用		1.1	節水		1.0	0.40	+	-	
1				1	3.0				
2 連邦本生性資源の使用量削減 3.0 0.30 - 3.3 0.60 - 3.3 0.60 - 3.3 0.60 - - 3.3 0.60 - - 3.3 0.60 - - 3.3 0.60 - - 3.3 0.60 - - 3.3 0.60 - - 3.3 0.60 - - 3.3 0.60 - - 3.3 0.00 -		1.2		1_{-}					
2 非再生性衰弱の使用量削減 3.3 0.60 - 3.3 2.2 既存建築躯体棒の継続使用 - 3.0 0.22 - 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用の置 3.0 0.22 - 2.5 持続可能な森林から産出された木材 セインの取組みを含まるい材料の使用の置 3.7 0.20 - 3.1 有言物質を含まない材料の使用回置 3.7 0.20 - 3.7 3.2 フロンハロンの回避 - 4.0 0.70 - 1 消火刺 - 3.0 0.30 - - 2 発泡利(断熱材等) ODD=0, GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用. 5.0 0.50 - - 3 冷媒 - 0.00 - - - - - - 3.7 2.0 - - 3.7 - - - 3.7 - - - 3.7 - - - 3.0 0.30 - - 3.7 - - - 3.7 - - - 3.0 0.30 - - 2.2 2.0 - - 3.0 0.3 - - 2.2 2.9 - - - <td></td> <td></td> <td></td> <td>_</td> <td></td> <td></td> <td>•</td> <td>-</td> <td></td>				_			•	-	
2 非再生性衰弱の使用量削減 3.3 0.60 - 3.3 2.2 既存建築躯体棒の継続使用 - 3.0 0.22 - 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用の置 3.0 0.22 - 2.5 持続可能な森林から産出された木材 セインの取組みを含まるい材料の使用の置 3.7 0.20 - 3.1 有言物質を含まない材料の使用回置 3.7 0.20 - 3.7 3.2 フロンハロンの回避 - 4.0 0.70 - 1 消火刺 - 3.0 0.30 - - 2 発泡利(断熱材等) ODD=0, GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用. 5.0 0.50 - - 3 冷媒 - 0.00 - - - - - - 3.7 2.0 - - 3.7 - - - 3.7 - - - 3.7 - - - 3.0 0.30 - - 3.7 - - - 3.7 - - - 3.0 0.30 - - 2.2 2.0 - - 3.0 0.3 - - 2.2 2.9 - - - <td></td> <td></td> <td>2 雑排水等利用システム導入の有無</td> <td> -</td> <td>3.0</td> <td>0.30</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td>			2 雑排水等利用システム導入の有無	 -	3.0	0.30	-	-	
2.1 材料使用量の削減 - 2.0 0.11 -	2	非再 4			3.3			_	3.3
2.2 既存建築原体等の総統使用	_			_					0.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3.0 0.22				J ⁻			-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用 3.0 0.22		2.2	既存建築躯体等の継続使用	 -	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 2.5 持続可能な森林から産出された木材 4.0 0.22		0.0						1	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	_	-7 -4	飯体材料におけるリサイクル材の使用	1 _	3.0	0.22	_	_	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 能。 紙体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可 能。 4.0 0.22 - 3				ー 吸充サービーリを広サ			-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み 能。 紙体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可 能。 4.0 0.22 - 3		2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ー 吸音材、ビニル系床材。			-	- -	
2.6 部材の使用回避		2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ー 吸音材、ビニル系床材。 ー			- - -	- - -	
3 万条物質含有材料の使用回避 3.7 0.20 - 3.7 3.7 3.1 有害物質を含まない材料の使用 - 3.0 0.30		2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	_			- - -	- - -	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		2.4 2.5	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可	4.0 -	0.22 -		- - -	
3.1 有害物質を含まない材料の使用		2.4 2.5	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可	4.0 -	0.22 -	- - -	- - -	
3.2 フロン・ハロンの回避	3	2.4 2.5 2.6	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可	4.0 - 4.0	0.22 - 0.22	-	- - -	3.7
消火剤	3	2.4 2.5 2.6 汚染物	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可 能。	4.0 - 4.0 3.7	0.22 - 0.22 0.20	-	- - - -	3.7
2 発泡剤(断熱材等) ODP=0, GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。 5.0 0.50	3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可 能。	4.0 - 4.0 3.7 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30	-	-	3.7
2 発泡剤(断熱材等) ODP=0, GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。 5.0 0.50	3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可 能。	4.0 - 4.0 3.7 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30	-		3.7
Restance	3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可 能。	4.0 - 4.0 3.7 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30	-	- - - -	3.7
LR3 敷地外環境	3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 -	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率が82%。 3.7 0.33 - 3.7 3.3 - 3.7 3.3 - 3.7 2.2 0.33 2.2 2.2 0.33 2.2 2.2 0.33 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 - 2.2 0.25 2.2 2.	3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等)	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50	- - - - - - - -	- - - - -	3.7
1 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率が82%。 3.7 0.33 - 3.7 3.3 - 3.7 3.3 - 3.7 2.2 0.33 2.2 2.2 0.33 2.2 2.2 0.33 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 0.50 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 2.2 - 2.2 0.25 2.2 2.		2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50	- - - - - - - - - -	- - - - - -	
2 地域環境への配慮 2.2 0.33 - 2.2 2.1 大気汚染防止 3.0 0.25 - 2.0 2.2 温熱環境悪化の改善 - 2.0 0.50 - 2.0 0.50 - 2.0 - 2.0 0.50 - 2.0 1 雨水排水負荷収減 - 2.0 0.25 - 2		2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	
2.1 大気汚染防止 3.0 0.25		2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避有害物質を含まない材料の使用フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50	- - - - - - -	-	2.9
2.2 温熱環境悪化の改善 2.0 0.50	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地線 地球湯	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.30 0.33	- - - - - - - - -	-	2.9 3.7
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地; 地域;	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33	- - - - - - - - -	-	2.9 3.7
2.3 地域インフラへの負荷抑制 3.0 0.25	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地球 地域斑 2.1	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 大気汚染防止 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.30 0.33 0.33	- - - - - - - - -	-	2.9 3.7
1 雨水排水負荷低減 3.0 0.25 - - 2 汚水処理負荷抑制 1.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 1.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 2 振動 - - - - 3 悪臭 - - - - 3 歴書、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 - - 1 風書の抑制 - 3.0 0.70 - - 3 日照阻害の抑制 - 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 - 3.0 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 - 3.0 0.70 - -	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地球 地域斑 2.1	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 物質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 大気汚染防止 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25	-	-	2.9 3.7
2 汚水処理負荷抑制 3.0 0.25 - - 3 交通負荷抑制 1.0 0.25 - - 4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25 - - 3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40 - - 1 騒音 - 3.0 1.00 - - 2 振動 - - - - - - 3 悪臭 -	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地。 地球選 地域野 2.1 2.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避有害物質を含まない材料の使用フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50	-	-	2.9 3.7
3 交通負荷抑制 1.0 0.25 =	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地。 地球選 地域野 2.1 2.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7
3 交通負荷抑制 1.0 0.25 =	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地。 地球選 地域野 2.1 2.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7
4 廃棄物処理負荷抑制 1.0 0.25	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地。 地球選 地域野 2.1 2.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25	-	-	2.9 3.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.33 - 3.0 1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 1.00 3.0 2 振動 - 3 悪臭 - 3.0 2.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 - 3.0 0.40 3.0 0.40 3.0 0.40 3.0 0.70 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.30 3.0 0.20 3.0 0.20 3.0 0.70 3.0 0.70 3.0 0.70 3.0 0.70	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地。 地球選 地域野 2.1 2.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避有害物質を含まない材料の使用フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40	LR3	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地。 地球選 地域野 2.1 2.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み物質含有材料の使用回避有害物質を含まない材料の使用フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 3.0 3.0 1.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止 3.0 0.40	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地 地域式 2.1 2.2 2.3	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 3.0 3.0 1.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7
1 騒音 - <td>LR3 1 2</td> <td>2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地 地域式 2.1 2.2 2.3</td> <td> 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 </td> <td>- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。</td> <td>4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 3.0 3.0 1.0 1.0</td> <td>0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25</td> <td>- - - - - - - - - - - - - - - - - - -</td> <td>-</td> <td>2.9 3.7 2.2</td>	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地 地域式 2.1 2.2 2.3	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 最暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 3.0 3.0 1.0 1.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7 2.2
2 振動 - <td>LR3 1 2</td> <td>2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3</td> <td>駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制</td> <td>- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。</td> <td>4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0</td> <td>0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.9 3.7 2.2</td>	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.33	-	-	2.9 3.7 2.2
3 悪臭	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿賞含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 慢境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7 2.2
3 悪臭	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	-	2.9 3.7 2.2
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制 3.0 0.40 - - 1 風害の抑制 - 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 - - - - - - 3 日照阻害の抑制 - 3.0 0.30 - - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - </td <td>LR3 1 2</td> <td>2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3</td> <td>駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮</td> <td>- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。</td> <td>4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0</td> <td>0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25</td> <td></td> <td>-</td> <td>2.9 3.7 2.2</td>	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25		-	2.9 3.7 2.2
1 風害の抑制 3.0 0.70 - - 2 砂塵の抑制 - - - - 3 日照阻害の抑制 - 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 - 3.0 0.70 - -	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 敷地域 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 選境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 販債への配慮 1 扇水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 販音・振動・悪 臭の防止 1 騒音 2 振動	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-	-	2.9 3.7 2.2
2 砂塵の抑制 - </td <td>LR3 1 2</td> <td>2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域现 2.1 2.2 2.3</td> <td>駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 乗業物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭</td> <td>- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。</td> <td>4.0 - 4.0 - 4.0 - 3.7 - 5.0 3.0 - 3.7 - 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 1.0 3.0 3.0</td> <td>0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2.9 3.7 2.2</td>	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域现 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 乗業物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 4.0 - 3.7 - 5.0 3.0 - 3.7 - 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 1.0 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25	-	-	2.9 3.7 2.2
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 - 3.0 0.70 - -	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域现 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 類境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.40 1.00 0.40		-	2.9 3.7 2.2
3 日照阻害の抑制 3.0 0.30 - - 3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 - 3.0 0.70 - -	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域现 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 環境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 類境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0 - 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.40 1.00 0.40		-	2.9 3.7 2.2
3.3 光害の抑制 3.0 0.20 - 1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 - 3.0 0.70 - -	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域现 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 選境への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 環境への配慮 販値 1 腐水 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀 銀	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.40 1.00 0.40		-	2.9 3.7 2.2
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策 - 3.0 0.70 - 3.0 1.70 - 3.0 3.0 1.70 -	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 污染物 3.1 3.2 地域现 2.1 2.2 2.3	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 湿暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 環境への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			2.9 3.7 2.2
	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地域取 2.1 2.2 2.3 周辺取 3.1 3.2	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 第 焼への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 4.0 - 3.7 - 3.0 - 5.0 3.0 - 3.7 - 2.2 3.0 2.0 - 3.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			2.9 3.7 2.2
	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地域取 2.1 2.2 2.3 周辺取 3.1 3.2	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 第 焼への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0 - 4.0 - 4.0 - 3.7 - 3.0 - 5.0 3.0 - 3.7 - 2.2 3.0 2.0 - 3.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 - 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.22 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.50 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			2.9 3.7 2.2
2 生ルツ注17771至にある区内1ル(フレノ)「マリカス - 3.0 1.30 1.30 1.30 1.30 1.30 1.30 1.30	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地域取 2.1 2.2 2.3 周辺取 3.1 3.2	駆体材料以外におけるリサイクル材の使用 持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組み 勿質含有材料の使用回避 有害物質を含まない材料の使用 フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 温暖化への配慮 大気汚染防止 温熱環境悪化の改善 地域インフラへの負荷抑制 1 雨水排水負荷低減 2 汚水処理負荷抑制 3 交通負荷抑制 3 交通負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 4 廃棄物処理負荷抑制 類方への配慮 騒音・振動・悪臭の防止 1 騒音 2 振動 3 悪臭 風害、砂塵、日照阻害の抑制 1 風害の抑制 1 風害の抑制 2 砂塵の抑制	- 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 - ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。 - ライフサイクルCO2排出率が82%。	4.0 - 4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 4.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.30 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			2.9 3.7 2.2
	LR3 1 2	2.4 2.5 2.6 汚染物 3.1 3.2 地域取 2.1 2.2 2.3 周辺取 3.1 3.2	 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用持続可能な森林から産出された木材 部材の再利用可能性向上への取組みの質含有材料の使用回避有害物質を含まない材料の使用フロン・ハロンの回避 1 消火剤 2 発泡剤(断熱材等) 3 冷媒 外環境 場 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	一 躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。 一 一 一 ライフサイクルCO2排出率が82%。 ー	4.0 - 4.0 - 4.0 - 3.7 3.0 - 5.0 3.0 - 3.7 2.2 3.0 2.0 2.0 3.0 3.0 1.0 1.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3.0 3	0.22 - 0.20 0.30 0.70 - 0.50 0.50 0.33 0.33 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25 0.25			2.9 3.7 2.2

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版												(仮)中	央林間東	口商業施設	新設工事
評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	_	T -	_	_	_	_	_	_	_	_					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		_	0	_	_	_	_	-	0	-	0	_	_	_
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		_	_	0	_	0	0	_	-	-	Ŏ	_	_	_
2.4.1 空調•換気設備	-		0	_	_	_	_								
2.4.2 給排水•衛生設備	_	-	_	_	_	_	_	_	_						
2.4.3 電気設備	1.0	_	_	_	_	0	_	_							
2.4.5 通信 • 情報設備	1.0		_	_	0	_	-	_							
Q3 室外環境(敷地内)												•			
1 生物資源の保全と創出	1.0		_	_	_	_	_	_	_	-	1.0	_	-		
2 まちなみ・景観への配慮	4.0		2.0	1.0	_	_	1.0	_							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	_	-	-	1.0	1.0	_	_					
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0		_	_	-	-	_	1.0	_	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_	_
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			_	_	_	_	_	_	ı	-					
2.1 材料使用量の削減	-		1	_	_										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			ı	_	_	_	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		0	_	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	3.0		1.0	_	1.0	_	ı	ı	ı	1.0	-	_			
2.3.3 交通負荷抑制	-		-	_	_	_	1	ı							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0		-	1.0	_	-		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	_		1	_											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		1	2.0											
主な指標															
(A)															
2.1.3 外皮性能			窓システ	1.80	_	変のり	コ 自士泰丸 耳っぷ	得率(η)	_						
2.1.3 外及任用			<u> 思レヘナ</u> U値(W/r			システム		屋根		外壁	_	床	_		
			住戸部分		ボージャップ ステムU値			上 上 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大		n AC				-	
3.1.1 昼光率			<u>任尸部</u> 无 昼光率	が <u>おンス</u> 5.3%			7	PIXUA恒		// AC		// AH			
3.1.1 全兀平			坐工平	5.3%											

以! 主內環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC
	U値(W/m2K)
	住戸部分 窓シ
3.1.1 昼光率	昼光率 5.3
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量
1.2.1 広さ感・景観	天井高
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペ
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔
>	

2.2.6	主要設備機器の更新必要間隔
3.1.1	階高のゆとり
3.1.2	空間の形状・自由さ
3.2	荷重のゆとり
Q3	室外環境(敷地内)
1	生物資源の保全と創出
3.2	敷地内温熱環境の向上
LR1	エネルギー
1	建物外皮の熱負荷抑制

設備システムの高効率化

自然エネルギー利用

LR2 資源・マテリアル

- 1.2.1 雨水利用システム導入の有無
- 2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
- 2.5 持続可能な森林から産出された木材
- 3.2.1 消火剤
- 3.2.2 発泡剤(断熱材等)
- 3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

開口面積率 5.9%

.0㎡ /人 .0㎡ /床 シングル .0㎡ ツイン 病床 .0m²

VA/m² 4.07 m 0.0%

レストスペース

年 年 年 想定必要間隔 想定必要間隔 階高 物販m 壁長さ比率 床荷重 -N/m2

外構緑化指数 建物緑化指数

空地率 水平投影面積率 8% 地表面対策面積率 舗装面積率

BPI/BPIm 0.72 断熱等性能等級 対象外 相当 自然エネルキー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす住戸数 通風を満たす教室数 0.0% 0.0% 非住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 BPI/BPIm 0.80 住宅 .0kW 蓄電池 .0kW

雨水利用率 0.0% 特定調達品目 エコマーク商品 自治体指定の特定品目等 0.0% 使用比率

オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP) オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)

見付面積比 72% 隣棟間隔指標Rw 0.20

地表面対策面積率 屋根面対策面積率 4.0% 外壁面対策面積率 0.0% 314㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 22.7 m 見付面積Sb 基準高さHb 19.17 m m[°] 高反射対策面 m[®] 保水性対策面 緑地 22 m² 水面 再帰性反射対策面 m² m¹